

「歪んだ行政に求められる継続的変革」

日本の政府の不祥事が連日報道されている。様々な隠蔽や改竄等、醜悪な内容である。適切な牽制機能が無い日本の行政機構の歪みが現れている。これを正す為には、

定期的な信念を継続する行政改革が必要だ。民間の大企業が噴出し、日本製造業の信頼が大きく揺らいだばかりだ。組織が大きくなれば、組織の各所で自己保身の為の様々な醜悪な不正が発生しても、個人の裁量が小さく、それを簡単に組織員が是正出来ない為に、不正の是認が横行し始め、蓄積した不正は巨悪となり、徐々に組織全体がその巨悪と一連托生の構造となり、もはや組織員の誰も手が出せない怪物と成り果てる。これを打破する為には、外部権力が破壊的な打撃を与えるしかなくなる。もちろん破壊の後には大混乱の時期が一

定期間続くのは仕方ない事だ。大組織は複雑で繊細な機能を持っているから、破壊の後には、切れた細かな配線を繋ぎ直すような大変な手間がかかるからだ。この混乱を恐れるが故に改革はなかなか実現しない。外野の立場なら変革を求めても、自分が渦中になれば変革を嫌うのが人情だ。だから、強い信念で改革を進めるのが、一番混乱を避けられるが、とても難しい。故に、破壊的打撃によって改革は行われてしまっし、破壊されてしまうと当事者達も諦めて改革を受け入れてしまつのも人情だ。

事は継続する強力なリーダーシップの下でなければ不可能だ。それが難しいから、破壊的変革をするしかなくなる。破壊の後の焼野原からの復興ならば、皆心一つに出来る。

今、日本の行政機構をはじめ、民間を含めた大組織は、そんな荒療治が必要なほどに、歪みが溜まっている。それにはもちろん自民党も含まれる。自民党は2009年の大惨敗と2012年の新人大量当選によって、大きな地殻変動の為の基礎が出来ている。次の選挙以後に自民党に巨大な地殻変動と共に大きな変革が起きるだろう事を予言しておいてもいいと思う。

自浄能力とは、絶えざる自己否定の連続だ。しかし自己否定ほど受け入れ難い事はない。自己否定はアイデンティティの崩壊でもあるから、人心は不安定となり、不安や恐怖が支配する。それを続ける

私達は、中国の習近平をはじめとするアジアの独裁政権の腕力をしのぎながら、柔軟で活力ある自由で民主的な日本に成長していきたいものだ。

自浄能力とは、絶えざる自己否定の連続だ。しかし自己否定ほど受け入れ難い事はない。自己否定はアイデンティティの崩壊でもあるから、人心は不安定となり、不安や恐怖が支配する。それを続ける

いづれにしても、日本人は変化を嫌う故に変革が劇的になつてしまつ。もっと細切

れの継続的変革や是正が可能ながバナンスに変わつていかなければならない。それは、統制と牽制の明確な分離と、牽制機能の強化だ。日本の組織は公共部門も民間部門もこれが弱い。これは日本に限らず、アジア地域をはじめとする発展途上地域に共通の特性で、牽制機能が弱いと、すぐ独裁政治が始まる。独裁は力強さを持っているが、組織や社会に歪みが溜まりやすく、変革に革命を必要とし、組織や社会に与える被害が大きい。

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebookアドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会
事務所



〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net